

2020 年度実施概要

学校名

明治学園高等学校

採択活動名

縄文海進の研究に基づく「新しい戸畑の街」のデザイン

実施単元

単元名	学年	教科
1. 課題設定（インタビューとフィールドワーク）	高校 2 年	課題研究
2. 研究（仮説の設定と検証）と発表	高校 2 年	課題研究
3.		

取り組みの概要

当初の予定では、まず「縄文海進」と「気候変動」についての詳細な導入を行った後、現場インタビューや外部機関の協力を得てのフィールドワーク等の活動を経て、北九州市戸畑区の「縄文地図」と「未来地図」を作成し、歴史的視点に立ちながら戸畑区の今後の土地利用法を考察する計画であった。しかし、コロナ禍のため、1 学期の活動の大半が中止となり、また、2 学期以降も活動に大きな制限が課せられたため、計画を変更して以下の内容で教育活動を実施した。

1. 課題設定（インタビューとフィールドワーク）

生徒の活動①

昨年度の生徒成果物である研究論文を読んだ。論文中の戸畑区天籟寺地区の「縄文地図」を参照しながら、同地区の土地利用の問題点を考察した。

生徒の活動②

台風 10 号接近を受けて、天籟寺地区の水害対策と同地区の避難所の現況を調査した。具体的には、戸畑区役所の災害担当者への電話インタビューを複数回実施した上で、徒歩による現地フィールドワークを実施した。

2. 研究（仮説の設定と検証）と発表

生徒の活動①

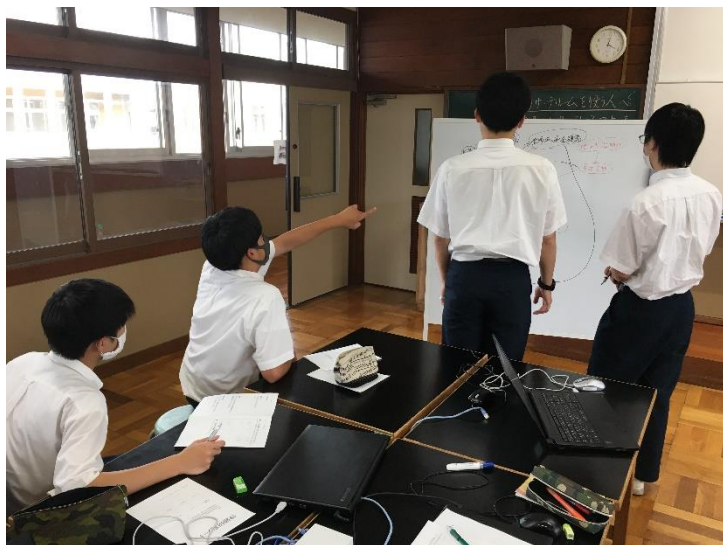
「天籟寺地区の水害対策は、誰が何をを行うべきか」という問いに対して、必要な水害対策を考察し、仮説の設定と検証を行った。

生徒の活動②

校内発表会に向けて、発表スライドと原稿を作成した。

※

活動中の写真



上：ホワイトボードを使っでの議論



下：校内研究発表会